




オリンピック予選 【 男子 】

開催日時 4 月 27 日 ( 金 ) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 (男子) 12:00	中国 (世界ランク17位)	1	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	0	オーストリア (世界ランク21位)
-----------------------	------------------	---	--	---	----------------------

オリンピック予選 【 女子 】

開催日時 4 月 27 日 ( 金 ) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第2試合 13:30	アゼルバイジャン (世界ランク15位)	3	$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$	0	ベラルーシ (世界ランク22位)
第3試合 16:00	日本 (世界ランク9位)	8	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 6 - 0 \end{pmatrix}$	0	マレーシア (世界ランク23位)
第4試合 18:30	オーストリア (世界ランク29位)	0	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$	3	チリ (世界ランク17位)

【各試合の結果・詳細】

第1試合

中国 1  $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$  0 オーストリア

勝点 3  
1 勝 0 分 0 敗

勝点 0  
0 勝 0 分 1 敗

<得点>

中国 : 20分 #20NA  
オーストリア :

<戦評>

昨日の雨とは打って変わり晴天の中、1-0、中国のリードで試合の後半戦が開始された。試合開始直後から中国は細かいパス回しで相手陣内に攻め込む。しかし、オーストリアの堅い守備を前に決定力を欠きなかなか追加点を挙げる事ができない。対するオーストリアは、堅い守備からペースを掴みチャンスを作る。50分オーストリアはPCを獲得。しかし、中国の体を張った守備により得点チャンスを阻まれる。その後も、一進一退の攻防が続き両チーム一步も譲らない展開となった。試合終了間際、1点を返したいオーストリアはキーパーをフィールドプレイヤーに替え、11人で得点を取りに行くが中国がそのまま逃げ切り1-0で中国が勝利した。

テクニカルオフィサー	MARSH Gary	アンパイア	GENTLES David
ジャッジ	STEWART Antony UEDA Koichi		GREENFIELD Gareth

第2試合

アゼルバイジャン 3  $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$  0 ベラルーシ

勝点 6  
2 勝 0 分 0 敗

勝点 3  
1 勝 0 分 1 敗

<得点>

アゼルバイジャン : 52分、58分 #9ALIYEVA、69分 #18SULEYMANOVA  
ベラルーシ :

<戦評>

ベラルーシのセンターパスにより前半戦が開始された。個人技のアゼルバイジャンに対して、ベラルーシはパスワークで攻撃を仕掛ける。しかし、両チームなかなか得点チャンスを作る事ができない。試合が均衡する中、最初に得点チャンスを得たのはベラルーシ。前半終了間際にPCを獲得。しかしチャンスをものにすることができず、0-0のまま前半戦を折り返した。  
後半戦に入り前半とは一転、アゼルバイジャンは巧みなパスワークで相手を崩し、優位に試合を進める。39分にPCを獲得。しかし得点を挙げる事はできない。44分にはベラルーシがPCを獲得する。数少ないチャンスをものにしたいベラルーシだが、アゼルバイジャンの堅い守備によって阻止される。先に先制点を挙げたのはアゼルバイジャン。52分にPCを獲得。#9ALIYEVAが強烈なフリックシュートをゴール左上に決める。その後もアゼルバイジャンの攻撃は続き、58分PCからまたも#9 ALIYEVAがフリックシュートを決め、2-0とリードを広げた。そのまま試合が終了するかと思われたが、69分アゼルバイジャンがPCを獲得。#18SULEYMANOVAがダメ押し1点を決め、3-0でアゼルバイジャンが勝利した。

テクニカルオフィサー	SHIN Jung Hee	アンパイア	HUDSON Kelly
ジャッジ	MARSH Gary KING Elizabeth		PRESENQUI Irene

第3試合

日本 8  $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 6 & - & 0 \end{pmatrix}$  0 マレーシア

勝点 6 勝点 0  
2 勝 0 分 0 敗 0 勝 0 分 2 敗

<得点>

日本 : 10分 41分 61分 #11藤尾、33分 #4岩尾、38分 #6村上、43分 #5中川、52分 #10駒澤  
55分 #7大塚

マレーシア :

<戦評>

日本のセンターパスにより前半戦が開始された。試合開始直後から両チームの激しい攻防が続く。6分、日本がPCを獲得。しかし得点を挙げることはできない。日本は細かいパス回しで攻撃を仕掛け、10分#12柴田がシュートしたボールのリバウンドを#11藤尾がリバースで押し込み先制点を挙げる。その後も日本のペースで試合が進み、33分PCを獲得。#6村上のフェイントから#14眞鍋がゴール前に打ち込み、それを#4岩尾がタッチシュートで決め、追加点を挙げる。マレーシアも速攻からスピードのある攻撃を仕掛けるが、日本の堅い守備を崩すことができず、2-0で日本のリードのまま前半戦を折り返した。  
後半戦に入り1点を返したいマレーシアは開始早々PCを獲得するが、チャンスをもたない。一方、守備からクリアボールをつないだ日本は速攻を仕掛け、38分#4岩尾がシュートを打とうとしたが相手の体を張ったDFにより転倒。相手の反則によりPSを獲得。#6村上が左上に冷静に決めマレーシアを引き離す。波に乗った日本は41分#11藤尾、43分#5中川が立て続けに点を決めリードを広げる。52分にはPCを獲得。#6村上が外から走りこんできた#10駒澤に合わせ、追加点を挙げる。その後も日本の攻撃が続き55分#7大塚、61分には#11藤尾が決め8-0で日本が圧勝した。

テクニカルオフィサー	SHIN Jung Hee	アンパイア	SEYMOUR Kylie
ジャッジ	STEWART Antony KING Elizabeth		CLELLAND Irene

**第4試合**

オーストリア 0  $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$  3 チリ

勝点 0  
0 勝 0 分 2 敗

勝点 3  
1 勝 0 分 1 敗

<得点>

オーストリア :

チリ : 6分 #15CARAM、37分 63分 #17INFANTE

<戦評>

オーストリアのセンターパスにより前半戦が開始された。両者ボールの奪い合いの中、試合が動いたのは6分。チリは右からのセンターリングを#15CARAMが相手のDFを振り切り、キーパーの頭上にループシュートを決め先制する。その後もチリのペースで試合は進むが、オーストリアも粘りあるDFを見せ、追加点を許さない。逆に速攻から27分、30分にPCを獲得。チャンスをものにしたいオーストリアだが、決定力を欠き追いつくことができない。そのまま1-0でチリがリードしたまま前半戦が終了した。

後半戦に入り、37分チリの#15CARAMのセンターリングをオーストリアのGK#32ANDERLEが弾くも、#17INFANTEが押し込み追加点を挙げる。その後粘り強いDFを見せていたオーストリアが速攻から攻め込みPCを獲得。ヒットシュートを打つが、チリのGK#1SCHULERのファインセーブにより、得点には至らない。その後もチリのペースで試合は進み、63分#17INFANTEが個人技でサークルまで持ち込み、リバースシュートを右下に決める。そのまま試合は終了し3-0でチリが勝利した。

テクニカルオフィサー	KING Elizabeth	アンパイア	JUDEFIND Stephanie
ジャッジ	UEDA Koichi		ROACH Lisa
	SHIN Jung Hee		

**明日の組み合わせ【男子】**

第1試合 10:00	南アフリカ (世界ランク12位)	VS	チェコ (世界ランク23位)
第2試合 12:30	ブラジル (世界ランク42位)	VS	中国 (世界ランク17位)
第3試合 15:00	日本 (世界ランク15位)	VS	オーストリア (世界ランク21位)